

放射光X線を用いた革新的二次電池材料の設計へ向けた調査研究

Feasibility study for design of innovative materials for secondary batteries based on synchrotron radiation X-ray analysis

概要

二次電池において、放射光分析を軸に理論的解析から材料合成までを包括した研究開発により、理論に基づいた新奇な開発指針、設計指針を確立する。

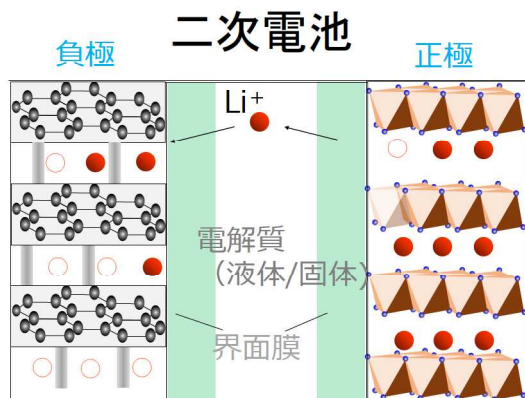
Comprehensive R&D of secondary battery from theoretical analysis by synchrotron radiation X-ray to material synthesis establishes standard for development and design based on scientific principle.

学理に基づいた革新的二次電池材料の設計指針の確立

Establishment of innovative materials for secondary batteries based on scientific principle

クリーンエネルギーデバイスの飛躍的な高性能化を達成し、持続的発展可能な低炭素社会を実現するには、革新的なクリーンエネルギー材料の開発と普及が必須である。クリーンエネルギーデバイスの中でも多くの注目を集めるリチウムイオン電池において、その充放電メカニズムには、未解明・未解決の問題点が多く、これらの学術的な基礎的理解が必要とされている。

我々は、これまでの技術の延長線上にない革新材料を合成するには、理論に基づいた新奇な開発指針、設計指針が必要であると考えている。近年目覚ましい発展を遂げている放射光を用いた最先端の分析手法をTIA連携チームで更に発展させ、新奇解析手法を軸にした理論的解析から材料合成までを包括した研究を実施し、学理に基づいた革新的二次電池材料の設計指針を確立する。



放射光X線オペランド測定による学理の構築

Construction of scientific principle by *operando* measurements using synchrotron radiation X-ray

